

ふるさと・きずな維持・再生支援事業 事業提案書

【申請団体】

申請団体名	すかがわ地域交流促進プロジェクト実行委員会
(協議体の場合のみ) 代表団体名	すかがわ地域交流促進プロジェクト実行委員会
(申請団体の) 代表者の職・氏名	須賀川商工会議所 会頭 長谷部 一雄
協議体構成団体①	須賀川市教育委員会 文化・スポーツ課
協議体構成団体②	須賀川商工会議所青年部、須賀川商工会議所 須賀川商工会議所女性会
協議体構成団体③	須賀川市婦人会連絡協議会、須賀川市明るいまちづくりの会 連絡協議会、須賀川市子ども会育成連絡協議会
協議体構成団体④	セントジョンアンビュランスジャパン協会東北支部 ボーイスカウト須賀川第1団、ガールスカウト福島県第15 団

【団体情報】

団体ホームページ	<a href="http://botan.locomweb.com/">http://botan.locomweb.com/</a>
又は公開予定日	

※情報公開を行っておらず、かつ公開する見込みのない団体については応募できません。

## 1 事業名

すかがわ地域交流促進プロジェクト

## 2 事業の目的及び地域課題（200字以内）

※ 今回申請する事業を実施することにより解決を図ろうとする、東日本大震災、若しくは、原子力災害を契機とした地域課題を記載下さい。

震災で被災、使用不可となった須賀川市総合福祉センターに代わり、市民が交流するための拠点をもう一度整備する事で、再び多くの人を招き入れる事と、地元の多くの団体が連携して活動することで地域活性解決に向けた今後の取り組みへのスキルアップを目的として以下の事業を行うものである。

## 3 事業の必要性（200字以内）

※ 当該事業を実施するにあたり、そのニーズを把握している場合は、具体的に記載願います。

昨年も、同事業『地域交流館ボタン』を運営させて頂いた所、1日あたり60名、10か月でのべ20,000の方が利用するなど、利用者からは引き続き、施設運営の要望の声が多くなっている。

今年は小学生から大人まで自由に利用できるインターネット環境を整備予定しており、さらなる集客を見込んでいる。

また、地元企業や、団体が会議やイベントに利用したいとの要望が多々あり、須賀川中心市街地ならではのニーズが寄せられている。

#### 4 事業内容

##### 【実施取組 1】

『地域交流館ボタンの運営・寺子屋事業の实地』	
主な活動地域：地域交流館ボタン	実施期間：H 27/ 6月～H28/ 3月末

##### 【取組内容】（100字以内）

※ 上記2の地域課題解決、及び、上記3の事業の必要性のため、どのような事業を実施するのか具体的かつ簡潔に記載願います。

誰でも利用できる『コミュニティースペース』として一般開放するほか、定期的に寺子屋事業・イベントを発信し、地域コミュニティの情報発信地としてのモデルを確立し、市民の皆様と共存していく場所にしていきたい。

##### 【実施取組 2】

『寺子屋出張事業 職場体験事業』	
主な活動地域：須賀川市の各企業	実施期間：H27/ 6月～H28/ 3月末

##### 【取組内容】（100字以内）

この先地域を担う小学生から高校生を募り、企業を訪問、または講師を招へいして出張事業を開催。また、企業訪問では手に触れ、見て、感じてもらう事で地元企業への関心を高め、雇用促進、定住化促進に繋げていく。

##### 【実施取組 3】

『寺子屋事業 自然関連事業』	
主な活動地域：地域交流館ボタン	実施期間：H27/ 6月～H28/ 3月末

##### 【取組内容】（100字以内）

宇宙航空研究開発機構（JAXA）、アクアマリンふくしまから講師を招へいし、宇宙科学、海の生物学等を講義。更に他分野の講師を招き、『学ぶ楽しさ』を伝える。

なお、同事業は魅力的な講座として毎回多数の応募がある。

## 5 事業効果（各200字以内）

※ 当該事業を実施することにより、どのような効果が生まれるか具体的に記載してください。

市民のほぼ全てが被災者である須賀川市にとって当該事業への参加は、市民同士の交流を深める『活力向上』場に繋がるとともに、東日本大震災や原発事故で住むことに不安を感じている市民が再度、故郷の良さを感じ、震災後、人口減少となっている須賀川市の定住化促進にも繋がる。

また、寺子屋事業・イベントを定期的実施し積み重ねていく事で、高齢層から若年層へすべての世代を繋ぐ、『連携・繋がり・絆』が深まる。

**【情報発信力】**復興関連の取組（イベント等）を事業の主な目的としている場合のみ記載

市、商工会議所・商工会との連携により、すべての事業をホームページ・フェイスブック・ツイッター等のSNSサイトで発信する予定。

また、地元新聞各社等との連携のもと、主要な事業は新聞等にも掲載予定。

## 6 実施団体の運営力強化（各200字以内）

**【人材育成の観点】**※活動を通じた外部専門家の招聘や研修の実施により、団体スタッフの専門的知識やノウハウの獲得が見込まれる点について記載してください。

- ・職場体験事業では、それぞれの職種のプロに講師をお願いするので、それぞれ用意する準備物、段取りなどで知識の獲得が見込まれる。
- ・松明あかし関連事業としてミニ松明を制作予定であるが、専門家に教わる為、松明の仕組みを教われる事と、何より 420 年余前の伝統がある地域の伝統文化を学べる良い機会になる。それらを次世代に伝えていく事でよりいっそう郷土愛を高められ、先輩から後輩への人材育成へ繋がる。

**【ネットワーク形成の観点】**※活動を通じて復興・被災者支援に関する地域間、支援団体間の情報共有やノウハウの移転等を実施するものについて記載してください。

- ・応募要項チラシにホームページ・フェイスブック・ツイッターのアドレスを掲載し、情報共有していく。
- ・細かな情報やノウハウの補足などは事業終了後、メール等により質問受け付けを行い講師とのやりとりを行い補っていく予定。

## 7 事業スケジュール（月ごと、箇条書き）

月	実施取組 1	実施取組 2
6月	職場体験事業 1 （職人さんに学ぶ。手に職とは何か）	
7月	職場体験事業 2 （伝統を知る。着物着付け教室）	
8月	自然関連事業 1 （深海に住む生き物の生態を知ろう）	
9月	職場体験事業 3 （須賀川市を代表する大工場見学体験）	
10月	歴史文化関連事業 1 （ミニ松明製作、松明の歴史を学ぶ）	歴史文化関連事業 2 農業青年団体「須賀川 4 Hクラブ」との連携事業（ハロウィン野菜教室）
11月	「松明あかし」関連事業 ・「松明あかし」当日 （ミニ松明製作ワークショップ）	歴史文化関連事業 3 ・「松明あかし」当日 （ミニ松明を並べ LED ライトを使用し疑似点火会）
12月	職場体験事業 4 （薬剤師さんを講師に招き、薬にまつわる講座の開催）	
1月	バレンタイン関連事業	
2月	職場体験事業 5 （精密機械製作師によるロボット製作事業）	
3月	自然関連事業 2 （宇宙航空研究開発機構による宇宙科学講座）	

※表が足りない場合は、適宜追加してください。

## 8 事業の実現性について（200字以内）

※ 当該事業が計画倒れとならないよう、現時点で確定していることや、これまでの経験・実績などを踏まえて当該事業の実現の可能性を具体的に記載してください。

- ・予定している職場体験事業については、アポイントメントが完了しており、いつでも着手可能。
- ・松明あかし関連事業は運営スタッフにも経験・ノウハウがあり、協議体構成団体と松明あかし運営側の連携も深いため実現可能。
- ・宇宙航空研究開発機構（JAXA）・アクアマリンふくしまによる講座は、今まで3年継続しており、講座も大変好評を頂いているので大いに実現可能。

## 9 事業終了後の展開・発展性（200字以内）

※ 仮に平成27年度補助金に採択された場合、平成28年度以降の事業展開について記載してください。

旧市総合福祉センターの代わりとして建設される(仮称)市民交流センターが近い将来再建され、再び市民が集まる場所としての機能が提供されるまで、本プロジェクト実行委員会の主導により、地域交流館ボタン運営の継続を図っていく。

また、その間の事業運営で得た貴重なノウハウや住民要望等を取りまとめ、同センターの建設計画及び運営計画にフィードバックさせ、各団体と連携して地域の課題が解決できるようスキルアップを図る。

10 事業の先進性・普及性（200字以内）

※ 震災を契機とした課題に対する取組であり、申請した取組がどのような先進性を有するか、どのようにして他のモデルとなるかを記載してください。

本プロジェクトは、地元の多くの団体が互いに連携し、地域経済や子育て、医療・福祉などそれぞれの特色を生かした寺子屋事業を開催するなど、地域が一体となって事業に取り組み成果を上げることで、幅広い団体が地元の問題を解決する取り組みをさらに推し進めたいと考えている。加えて、(仮称)市民交流センターの建設計画に対して、スペースを実際に利用する市民の生の声を集め、より実効的な提言を示すことができる。

11 特記事項（アピールポイントなど）（200字以内）

※ 特に説明しておきたい事項、アピールポイントありましたら記載してください。

『シルバー世代が運営する駄菓子屋、寺子屋教育の実施』は、須賀川商工会議所が平成23年11月にとりまとめた『須賀川新生プラン』中で、基本ビジョン実現に向けた55施策の一つとして提案されている施策である。

旧総合福祉センターに替わる拠点を街なかに整備し、更には世代間交流や生涯学習の場の提供で、更なる市民同士の交流を図り、市内中心部に再び多くの人を招き入れることで、須賀川市の復興を将来にわたり牽引していきたい。

12 その他の助成金について

<p>① 当該申請事業について、他の助成金も受けている。          答えが「はい」の場合のみ②へ</p>	<p>はい / <input type="checkbox"/> いいえ</p>
<p>② 他の助成金を受けているが、当該申請事業と明確に区別することができる。</p>	<p>はい / <input type="checkbox"/> いいえ</p>

※ 他の助成金を受けた事業と明確に区別することができない場合は応募できません。

第3号様式（第4条関係）

ふるさと・きずな維持・再生支援事業 収支予算書

申請者名 すかがわ地域交流促進プロジェクト実行委員会

【支出の部】

（単位：千円）

区 分	平成 年 度 予 算 額	明 細
人件費（共済費を含む）	1, 4 4 2	常駐スタッフ人件費 151,800 円（基本給 150,000 円＋雇用保険 1,275 円＋労災保険 525 円）×9.5 ヶ月 ※共済費含む
報償費	2 2 3	外部講師謝礼 9,300 円×12 回×2 人
旅費	7 7	講師招へい代（東京～須賀川 19,300 円×2 人×2 回）
需 用 費 a1+b1+c1	1, 6 2 8	
消耗品費 a1	2 0	紙、糊等の事務用品 20,000 円
燃料費 b1	2 8 5	燃料費及び光熱費 燃 2 万×9.5 カ月、光 1 万×9.5 カ月
印刷製本費 c1	9 9 3	講座案内・デザインチラシ・ポスター代等（99,300 円×10 回）
材料費 d1	3 3 0	寺子屋事業材料費・音響設備
役務費 a2+b2+c2	1 1 0	
通信運搬費 a2	9 5	パソコン、インターネット、Wi-fi 及び電話使用料 300,000 円（10,000 円×9.5 ヶ月）
手数料 b2	1 0	振込手数料
保険料 c2	5	レクリエーション保険
使用料及び賃借料	2, 0 7 1	家賃＋駐車場代：200,000×9.5 ヶ月（6 月から翌 3 月）＝1,900,000 円。 椅子及び机リース費用 171,360 円。
委託料	0	
A. 支出合計	5, 5 5 1	千円未満切捨

【自己資金の部】※自己資金は支出合計の2割以上が必要です。

(単位：千円)

区 分	平成 年度 予 算 額	明 細
自己資金（負担者名）	1, 1 1 1	須賀川商工会議所青年部より
寄付金等	0	
その他収入	0	
事業収入	0	
B. 自己資金合計	1, 1 1 1	千円未満切捨

【補助金交付申請額】 4, 4 4 0 千円 (A. 支出合計－B. 自己資金合計)

- 注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。
- 注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。
- 注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の用途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、用途の区分が分かる資料を添付すること。